

News Release

Kanadevia
Technology for people and planet

カナデビア株式会社

2026 年 9 月 8 日

当社舞鶴工場に電子ボード工場が完成

～ 電子制御事業の生産体制を強化、半導体・蓄電池・CNT 応用製品などの需要拡大に対応 ～

カナデビア株式会社は、半導体製造装置などに使用される電子ボードや、カーボンナノチューブ（CNT）を使用し東海道・山陽新幹線にも採用されている HiTaCa[®]フィルムヒーター※¹などの製造拠点集約および増産体制構築のため、当社舞鶴工場（京都府舞鶴市）への設備投資を進めてきましたが、このほど、「電子ボード工場」が完成したことから、先行して完成・操業を開始していた「ユニット工場」とあわせて竣工式を行い、本格操業を開始しましたので、お知らせします。

竣工式には、鴨田 秋津舞鶴市長をはじめとした多くの来賓や関係者が出席し、施設の完成が祝われました。



【新設した電子ボード工場】

当社は、1950 年代の陸上機械事業の拡大に伴い、電気・計装制御技術の重要性が高まる中、自社製品の高度化などを図るため、電子制御技術の開発に取り組み、1975 年に電子制御機器事業を開始しました。事業化以降、舞鶴工場を電子制御機器関連の主要な生産拠点として、半導体製造装置や鉄道車両、食品工場などさまざまな分野に電子ボードや制御システム、映像記録装置などを納めてきました。

また、同区画に従来からある第1・第2実験棟を改築し、新たに「ユニット工場」として整備しました。ユニット工場では、リン酸鉄リチウムイオンバッテリーを用いたバッテリーマネジメントユニットや、HiTaCa[®]フィルムヒーターなどの組立・装置化（ユニット化）を行います。従来は電子機器センターで実施していたこれらの業務を集約し、再生可能エネルギー向け蓄電池製品や半導体製造装置関連へのCNTヒーター応用製品など、今後需要の拡大が見込まれる製品への対応体制を強化しました。

また、舞鶴工場は地域に根差した生産拠点として事業活動を行っており、今後も地域とのつながりを大切にしながら、舞鶴地域の発展に貢献してまいります。

なお、本設備投資の概要は次のとおりです。

- (終)